壹年三百六十五日毎日刊行の新聞紙ハ日本國中ニ唯時事新報あるのミ

時事新報

第千七百七十七號
明治廿年十二月十九日　月曜日
舊丁亥十一月五日（戊午）
日出午前七時零六分　日入午後四時四十八分
月出午前十時三十一分　月入午後九時二十一分
滿潮午前八時三十分　午後八時五十二分
（西暦一千八百八十七年）

時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓一箇年前金六圓

○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報社神戸出張所設置

時事新報は一年三百六十五日一日も休みなき新聞紙なりとて其評判甚だ高く關西地方の配達紙數近來頓に増加したるに付ては一層配達并に通信等の便利を謀り今般新たに神戸港榮町六丁目百六十九番地に時事新報社の出張所を設置し神戸兵庫市内は新報着次第直に出張所より配達し又下廻りの新報も是迄は横濱より神戸へ着の上一旦之を大坂に廻し同地より更に下通ひの汽船に托するの手都合なりしも今後は之を改め神戸出張所の手を以て直に同船に積入るゝ事となしたるに付ては神戸兵庫市内の配達は申すに及ばず中國四國九州の各地方に至るまで新報の到着は今後一層速かなると得べし此出張所にては御注文に應じて神戸兵庫の看客へ時事新報の直配達を爲すのみならず新報へ登載する廣告の御依頼とも引受くべし

時事新報

機會失ふ可らず（一昨日の續き）

近時歐洲諸國に於ては首府都會若くは開港場等に貿易輸出入品の陳列所又は商品見本博物館を建立して之に工藝技術一切の物品を聚め以て商賈人製造人は勿論、廣く一般人に便益を與ふるの風にして歐洲列國の中其規模の最も整頓したる者は白耳義、和蘭、日耳曼、佛蘭西の諸國にして其商工業に奬勵の効を奏しさるは事實に於て爭ふ可らず英國は古來製造工業を以て世界に誇り列國孰れも之に及ぶ能はざるの有樣なりしに近年其商品の販は外國市場に勢力を失して漸く他に競爭者の現出するに心付き其原因を捜索したるに英品は意匠製作兩つながら時として他の國々に及ばさる者あるを悟りて是に於て五六年來頻りに本國製造の技藝と進ましむるの策を講じ引續き萬國大覽會と開設して其他倘取る所は方便手段一として足らざれども近頃又政府の補助と以て國内所々に商業博物館を設く可しとの議論を生じ昨今專ら其計畫中なりと云へり蓋し商業博物館の設けと以て農工商事を奬勵する其効の大なるは爭ふ可らざる事實にして我日本國に於ても殖産の爲め必ず其設立なかる可らずとは世論の既に許して疑はざる所なり而して我輩が特に今日に其必要を感じたるは外ならず抑も是迄も日本人の西洋博覽會に出品したるは兩三度に止まらず又其出品の度毎に賞與を得名譽を博したるの例も少なからずと雖も其出品の手續はと顧みるに毎々官の手を煩はし耐も半年若くは一年以前より其次第と告げられて出品人は博覽會開設の報あると聞は始めて其意匠と構へ悠然製作に從事して開會は期に追り漸く塞責するが如き緩慢の調子なきに非ず文明活劇れ世界に在て斯る緩長なる出品手段は我輩の大に取らざる所なり例へば今回白耳義の博覽會へ出品と拒絶したる一條にても若し日本に豫て商業博物館、貿易輸出入品陳列所等の設けあらば紹介次第臨機に其貨物を輸送して追て倘ほ時日もあらば後より更に新規の品と送るの工風行はれ難きに非ずと雖も如何にせん現在我商工事業は平生の組織至て散漫なる者にして一旦衆力を併せて業と爲さんとするの際よは連絡相通せずして其事の不規律なる恰も烏合の兵を驅るの趣あるにあらず其然る所以は本來連絡の中心たる可き者なきの致す所あらんなれば今日商業博物館を設置して全國の商工業に其向ふ所を指示するは誠に目下の急務なる可し就中我輩の希望する所は貿易輸出入品の陳列所と東京若くは横濱の如き便宜の地方に設置し現今海外に賣行の宜きものは勿論或は又將來に望ある品あれば凡ろ何品に限らず一切之れを網羅して平生は内外人の參考用に供し又は外國に大博覽會の催し等ある場合よは右陳列所の物品を直に同會に送致するか或は又同所に於て出品販賣の委託と引受るの都合とも爲さば平生西洋人の嗜好に適せざる物品を場所に陳列して轉た彼れが笑を招くの迂濶も少なく又不意に西洋博覽會の開設に遭ふことあるも出品を誤まらず以て我販路と西洋市場に弘むるの便法たる可し即ち内にて自國の殖産を奬勵して外には西洋萬國の博覽會に必ず出品を忘れざるの手段あれば日本商工業の進歩を速ならしむるの一策として我輩は早く其實行を望むものなり

偶は筆の序に一言せざる可らざるは來る明治二十二年佛國政府の開設に係る巴里萬國大博覽會に我日本の會同と承諾したる一事是なり元來此會の目的は佛國共和政治の百年祭を祝するに在るものありとは既に前にも記述したる如くにして歐洲の君主國にて概ね出品を拒絶しさるも意味ありげなる話なれば日本に於ては其進退を如何にす可きやと論者中には此事に掛念したる族もあるべと聞きたりしが我輩は始めより毫頭心に留めずして獨り謂へらく歐洲の君主國が佛國と政體の利害と殊にす可きは當然なれども去迚之れを以て殖産の目的たる博覽會の出品にまで其不平の情を移さんとするは心得難き次第なり假に日本をして佛國と隣國同士ならしむるとそるも其博覽會には遠慮なく出品を可し況まて東西其地を懸隔するも亦甚しければ政治上の影響は憚るに足らずと竊に私言せしみとなるよ然るに我政府に於ては本月十三日の告示と以て右博覽會に會同の旨を公布し厚く其出品を保護せらるゝに至りしは大に我輩の意を得たる者にして此一擧日本は決して政治上の得失より商工業の進路を塞ぐる者に非ざるの事實を表明したりと云はざる可らず唯歐洲君主國の人民が其佛國を悦ばざるの意と挾んで日本人の巴里博覽會に會同したるは面白からぬ仕打なりと爲すの行違ともあらば日本の迷惑實よ此上なる可らず依て念の爲め我輩は右れ論者に寄語して曰く日本が巴里の博覽會に加盟したるは敢て其共和政治を崇めんがためにも非ず又好んで歐洲君主國の歡情を傷けんとの野心あるにも非ず一向一念我商工業れ進歩と圖らんとするより外他に顧みる所なき者なりと

（完）

官報

○遞信省告示第二百三十四號

礦山出稼人へ宛タル郵便物ハ自今其礦山事務所へ配達ス

明治廿年十二月十七日　遞信大臣子爵榎本武揚

○警視廳告示第二十七號

來明治二十一年一月四日消防組出初式執行當日午前第七時各火ノ見ニ於テ總出信號ヲ報セシム

明治廿年十二月十七日　警視總監子爵三嶋通庸

○東京府告示第六十九號

府會區部會郡部會議長副議長及常置委員撰擧ノ爲メ本月十九日臨時府會區部會郡部會ヲ開ク

明治廿年十二月十七日　東京府知事男爵高崎五六

○加奈陀太平鐵道經由東洋諸港への航路哩程及航海日數

英國里華布爾港より加奈陀太平鐵道を經由し東洋の諸港に達する航海哩程及日數を調査するに即ち左の如し（本月八日北支那毎週ヘラルド）

東洋諸港へのヴアンクーヴアル航路哩程

里華布爾クエベック　二、八五四
クエベックヴアンクーヴアル　二、六五六
ヴアンクーヴアル横濱　四、二八〇

	ヴアンクーヴアル航路	日布拉爾陀及蘇士運河を經由する航路	ブリンヂシ及蘇士運河を經由する航路	喜望峯を經由する航路
横濱	九、七九〇哩	一一、二三〇哩	一〇、〇四〇哩	一四、二四〇哩
上海	一〇、七四〇	一〇、四四〇	九、二五〇	一三、五三〇
香港	一一、三〇〇	九、七三〇	八、五四〇	一二、八七〇

同航海日數（平均十五ノットの速力を有する汽船を以ての見積）

	ヴアンクーヴアル航路	日布拉爾陀及蘇士運河を經由する航路	ブリンヂシ及蘇士運河を經由する航路	喜望峯を經由する航路
横濱	二四日一九時	三二日〇四時	二七日二三時	三九日一時
上海	二七日一一時	三〇日〇〇	二五日一八	三七日一四
香港	二九日〇〇	二八日〇〇	二三日一八	三五日一八

（以上本年十二月十七日官報）

雜報

○青木海軍軍醫正　豫て海軍省の命を奉じ英國東洋艦隊のアンダー號に乘組み軍醫上の事を取調べたる青木海軍々醫正には此程用濟みにて歸朝せしが目下同號乘組中の事項を編輯中なりと

○中目忍氏　陸軍教授中目忍氏は幼年士官學校附と命ぜられたり

○農具製作所　芝區三田四國町の同所を拂下ぐるとありたるよし昨今現所參觀人の續々詰掛くる由なるが明二十日よりは愈々入札せしめ明年一月十日を以て開札の都合なりといふ

○外國種の家禽　府下本郷區千駄木林町に住居する農商務屬植木音太郎氏は同省農商務局詰にて專ら家禽家畜に關する事務を擔當し就中我國は近頃肉食の途漸く開け肉類の需用日よ増加するよも拘はらず古來飼養する所の家禽は何れも種類の悪しきが上ふ其飼養法等に至りては殆んど無頓着の有樣にて毫も意に介する者なきを憂へ大に之れが改良と圖らんとて右に關する事項を取調べ居る由なるが何分にも是れ等の事は全く實際の經驗と要する事多く理論のみにては到底其目的と達すると覺束なしとて試驗の爲め自宅に於て外國種の家禽を數多飼養する由なるが今其重なる者を擧ぐれば產卵用の雞にては西班牙種、ミノルカ種、ポリシュ種、ウーダン種、レグホルン種等なるが何れも一羽に付き八百五十目乃至六百目餘の體重にて皆年中に二百個以上卵と產し此卵一個の目方も十三匁より十六匁の大さあり右の中レグホルン種は米國より取寄せたる者にて第一傑族なるはミノルカ種なりといふ又肉用雞にはブラマ種、コーチン種、ラング
シ種等なるが其中最も大
百目雌一貫目位他は皆雄
る〃雌コーチン、ラング
ヤウス、ロックは之れあ
肉用雞は前者に比すれば
に百二十個より百五十個
までなりと元來本邦に產
に八十個乃至百個位の卵
り大なるも十二三匁よ過
せバ當に產卵の少なきの
二分の一に居れば其損益
用の家鴨にて米國より舶
毛色純白にて體量は左まで
ども產卵の數非常に多く
を体ふるのみにて他は
に三百個以上の卵を產す

○フレッチー氏の略傳
アーに生れ工學校に入り
命を受けて公共の工事よ從
百五十五年にボルドゥ鐵
に其組織を改良して他の
る政府の命を奉して内外
る其時はダルン　エ　カロ
に任じ翌年故ガンベッタ

六票の多數にて破棄され
困難辛苦の後漸くヲユク
組織しブリソン氏之よ繼
内閣總理兼外務卿よ任す
繼ぎ本年に至りてゴブレ
し兎に角グレヴヰー氏に
遂にカルノー氏の爲めに
そる者と多く著述しさり

○珈琲綿樟樹三種の培養
笠原嶋に產出する珈琲、綿
移植培養せんとのことにて
るよし

○藍玉商況　府下に於て本
況を聞くに七八月頃は稍
九月中頃に至り漸次沈靜
時横濱生絲商況の不振に